

自然災害と防災教育 学習指導案

授業者 教諭 細山光也

1. 日時, 場所 平成18年11月10日(金) 第1限(10:00~10:50) 1年5組教室
2. 該当クラス 1年5組 41名(男子15名, 女子26名)
3. 単元 自然災害と防災

4. 単元の見積

- (1) 自然災害(地震・津波・台風・豪雨など)についての理解を確認させる。阪神大震災, 東海地震, 東南海地震, 三河地震, インド洋大津波, 伊勢湾台風を知っているか, 東海豪雨, 台風の被害を体験したことがあるかを考えさせる。
- (2) それぞれの自然災害への対処の仕方・防災について確認させる。東海地震に関する緊急時の対応について, 台風時における生徒の登校についてを, 生徒手帳より確認させる。自宅や市町村での防災対策を知っているかを考えさせる。
- (3) 地震防災避難訓練の際に, 地震と防災についての基礎的な知識を理解させる。今日は何の日か, なぜ5分が大事か, 巨大地震とは何か, 直下型地震とは何か, 地震の予知は可能か, どうすればよいか, を理解し考えさせる。
- (4) 身の回りの防災について考えさせる。愛知県で予想される自然災害について理解し, 学校と自宅周辺の防災について考えさせる。災害発生時の対応と, 自宅まで帰る方法についても確認させる。

5. 指導計画

- (1) 自然災害と防災1 自然災害と防災の基礎理解・・・1時間
- (2) 地震と防災についての基礎・・・15分(地震防災避難訓練講話)
- (3) 自然災害と防災2 身の回りの防災・・・1時間(本時)

6. 本時の指導

(1) 目標

- ① 愛知県で予想される自然災害について理解し, 学校と自宅周辺の防災について考えさせる。
- ② 災害発生時に, 自宅まで帰る方法について確認させる。

(2) 指導過程

① 導入

これまでに体験したことのある自然災害について, 各自で確認する。

② 展開1 愛知県で予想される自然災害

愛知県で予想される自然災害は, 主に気象災害と地震災害(及び津波災害)であることを理解する。

③ 展開2 学校と自宅周辺の防災

自然災害は, 台風や地震などの「自然現象」と「土地の条件」, 「人々の暮らし(社会)」の3つの要素によって発生することを理解する。学校周辺を例にして考察し, 各自の自宅周辺にもあてはめて考える。

④ 展開3 災害発生時の対応

自然災害は学校や自宅にいる時だけ発生するわけではない。各自の通学ルートなどを検証し, 災害発生時の対応と, 自宅まで帰る方法について確認する。

⑤ まとめ

本時のまとめ